

鈴鹿2&4レースに伊藤真一選手の参戦が決定

2010年シーズンを最後に、全日本ロードレースJSB1000クラスから卒業した伊藤真一選手が、このたび鈴鹿2&4レース(5月14日・15日開催)に急遽参戦することが決定しました。

被災地の皆様を励ますために、参戦を決意した伊藤選手の走りに注目が集まります。

伊藤真一選手のコメント:

「昨シーズンで全日本JSB1000からは卒業しましたが、3月の震災で僕自身も被災者になり、その僕がレースを走ることによって、被災者のみなさんを少しでも勇気づけることができればと思い、今回の鈴鹿2&4レースに出場することになりました。

ただ、震災後の一カ月は本当に慌ただしくて、とてもトレーニングができる状態ではありませんでした。正直なところ、被災地をまわって、いろいろと考えさせられることがたくさんありました。そしてモータースポーツに目を向けてみると、他のスポーツでもそうですが、少し元気がなくなっている気がします。

僕が育ったと言うか、僕を育ててくれたモータースポーツを少しでも元気にしたい。そんな気持ちもあって今回の参戦に踏み切りました。

鈴鹿サーキットは知り尽くしているサーキットですし、マシンに関しても、ベースはおそらく同じだと思いますので、僕自身のフィジカル面も含めて、心配は何もありません。

どこまでできるかは未知数ですが、出場するからには勝ちに行きます。

昨年の最終戦では、秋吉選手にやられているし、中須賀選手も絶好調と聞いています。この二人を含め、トップライダーたちと良い勝負ができるように、調整していきます。」

エントリー情報:

ゼッケン: #5
チーム名: F.C.C.TSR Honda
車両: Honda CBR1000RR
タイヤ: ブリヂストン



(写真) 2009年鈴鹿8時間耐久ロードレース

伊藤 真一選手プロフィール:

出身 : 宮城県角田市
 所在 : 宮城県名取市
 誕生日 : 1966年12月7日
 身長 : 179cm
 血液型 : B 型



(写真)2009年 鈴鹿 300km ロードレース

1988年、国際A級昇格と同時にHondaワークsteamに大抜擢され、当時の国内最高峰全日本ロードレースGP500クラスにフル参戦。この大抜擢から「シンデレラボーイ」と呼ばれ、1990年には全日本ロードレースGP500クラス年間チャンピオンを獲得。1993年からは念願のロードレース世界選手権に4年間フル参戦。1997年に、全日本ロードレースに復帰後、三度の年間チャンピオンを獲得し、「絶対王者」の異名を持つことに。鈴鹿8時間耐久ロードレースにおいても、通算最多ポールポジション7回、優勝3回(最年長優勝含む)の記録を保有している。2010年シーズンをもってJSB1000クラスから「卒業」を宣言。3勝をあげ(通算31勝)年間5位でシーズンを終了。23年間トップライダーとして走り続けた戦いに一旦終止符を打った。

主な戦歴:

全日本ロードレース

1990年 全日本選手権GP500チャンピオン
 1998年 全日本選手権SBチャンピオン
 2005年 全日本選手権JSB1000チャンピオン
 2006年 全日本選手権JSB1000チャンピオン

ロードレース世界選手権

シリーズ最高位: ランキング5位(1995年)

鈴鹿8時間耐久ロードレース

優勝: 1997年、1998年、2006年
 ポールポジション: 1998年、1999年、2003年、2004年、2005年、2006年